

高校生と語るつどい事業実施報告

- 1 開催期日 令和2年9月16日（水）
- 2 開催場所 稚内市生涯学習総合支援センター
「風～る わっかない」2F軽体育室
稚内市富岡1丁目1-2（稚内大谷高等学校 隣）
- 3 参加対象者 稚内大谷高等学校、稚内高等学校、豊富高等学校の生徒、保護者及び教員（約30名）
※各校生徒6名、PTA3名、教員2名

4 事業内容

(1) ワールドカフェ方式による事業

- ア 各テーマを掲げ、8のグループで意見交換を実施する。
- イ あくまでも結論を出さず、多様な意見を交代で話し合い用紙に記入していく。
- ウ 一定時間で1名を残し席（グループ）を移動する。
- エ 司会者とファシリテーターが全体をコントロールし指示を出していく。

(2) 講師（ファシリテーター） 馬場 航平 氏

(3) テーマ

- 「2030年、稚内・宗谷の未来はどうなっているのだろうか？」
- 「稚内・豊富 魅力の発見・発信の手法は？」
- 「学校と地域の連携はどうあるべきか？」
- 「AI時代をどう生きるか？」

(4) 日程 令和2年9月16日（水）（予定）

- 9:00～ 受付
- 9:20 オリエンテーション
- 9:50 ワールドカフェ①②③④ スタート
- 11:30 提言・まとめ
- 12:00 終了

5 事業実施の感想

コロナ禍で実施をすべきか中止すべきか判断に迷うところでありましたが、規模を縮小し、また感染対策を十分に行ったうえで開催致しました。

近隣の稚内高校と豊富高校と稚内大谷高校の3校での合同開催で、講師の馬場様の進行により活発な意見交換がなされ、有意義な時間を過ごすことができました。

テーマにもあるように私たちの街の将来や住む街を広く発信する手法、学校と地域との関わり、大きく変革されるであろうAI時代をどう生きていくのか、教師、保護者、生徒が一体となり真剣に考え意見を出す姿が印象的でした。

